

交換留学(派遣) 近況報告書



留学先での生活はいかがですか。本報告書は以下の目的のために使用されます。
① 皆さんの近況等を把握するための資料です。何か困ったこと等があれば、本報告書に限らず速やかに教務係までご連絡ください。
② 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は写真データと共に提出してください。(提出締切日12/5)

あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
留学先大学:	ワシントン大学
留学先での所属学部・研究科:	フォスター経営学部
留学先での在籍身分:	交換留学生
留学期間:	2023年9/21~2024年6/7
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	3年生
本報告書記入日:	2023/12/2

1. 出発前について		
1-1	交換留学以前に海外留学の経験はありますか。	いいえ
	「はい」の場合、留学先及び留学期間を記入ください。	
1-2	この留学プログラムを最初にどのように知りましたか。	神戸大学のホームページ
	その他を選択した場合、記入してください。	
1-3	このプログラムに参加した動機を教えてください。	最もよく当てはまるものから順に4つまで選んで順位をつけてください。(1:最も強い動機)
	学術的な目的(研究を深めるなど)	2
	語学力の向上	3
	プログラムの時期がちょうど良い	
	プログラムの長さがちょうど良い	
	かかる費用がちょうど良い	
	地理的な条件が良い	
	将来のキャリアのため(就職に役立つなど)	4
	家族のバックグラウンドと関係がある	
	異文化を体験したい	1
	その他(具体的に記入)	
1-4	出発前にどのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば記入してください。	前の年度に留学した先輩と連絡を取り、情報共有していただいていた。加えて、UWのウェブサイトのできる範囲の情報収集は行っていた。
1-5	VISAについて	
	VISAの種類:	J1
	申請先:	アメリカ大使館
	必要日数:	1ヶ月
	VISA取得にかかった費用:	約22,000円の発行手数料
	VISA申請のために求められた書類:	パスポート、写真、SEVIS支払い証明、財政証明
1-6	その他、VISA申請の際のトラブルや、注意すべき点があれば記入してください。	大使館には貴金属の持ち込みが禁止であったので、あらかじめ駅などのロッカーに荷物を預け、最低限の手荷物で大使館に行くべきである。
	出発前に必要とされた予防接種の種類・回数・費用	はしかのワクチン2回、おたふく風2回、髄膜炎のワクチン一回
1-7	大学で加入するOSSMAと上乗せ海旅以外に加入した保険があれば教えてください。また、現地で加入した保険があれば記入ください。	現地では加入していない。自身は保険会社から給付型奨学金を受給していたので、東京海上日動の付帯保険に加入していた。
1-8	その他に必要な手続き、方法、料金等	

2. 留学先到着後の手続きについて		
2-1	到着時について	
	利用旅行会社(航空券の手配をした会社):	デルタ空港
	到着空港名:	
	空港到着時間:	
	到着地からの移動手段:	知人の出迎え
	移動の所要時間・料金:	\$0 20分～30分程(知人の車のケース)
	到着地からの移動で注意する点があれば記入ください。	light railを利用する際には、日本と比較すると、怪しい人が乗車している傾向にあるので、所持品などについては注意し、基本的にそういった人に近い座席には座らないことをお勧めする。
2-2	住居について	
	住居のタイプ:	大学寮
	その他を選択した場合、記入してください。	
	住居(寮、アパート)の名前:	Lander hall
	部屋の種類:	二人部屋
	その他を選択した場合、記入してください。	
	ルームメイト:	現地学生
	その他を選択した場合、記入してください。	
	住居の探し方:	大学の斡旋
	その他を選択した場合、記入してください。	
	大学までの通学時間・手段:	キャンパス内に寮があるので、校舎までは徒歩15分程
	住居の周りの環境はどうか。	思っていたよりも治安は良い。アジアンスーパーマーケットなど、日本人がほしい商品、食品は値段は高いが手に入る傾向にあると思う。
毎日の食事はどうしていますか。	基本的には、dining hallというcafeteriaを利用している。たまに、自炊をするくらいである。	
住居は渡航前に、または渡航後すぐに見つかりましたか。トラブルはありませんでしたか。	あらかじめ、キャンパス内の寮に応募し、アサインされていた。	
2-3	留学生向けオリエンテーションについて	
	留学生向けオリエンテーションの有無について:	有り
	参加義務について	任意
	参加費用:	無料
	有料の場合、金額:	
	オリエンテーションの内容を記入してください。	参加していないのでわからない。
2-4	その他、渡航してから必要な手続きについて	基本的には必要ないと思われる。
	現地で滞在許可申請は必要ですか。必要な場合、申請方法、料金、取得に係る日数等を記入してください。	オンラインで米国に入国したという旨を伝えるだけでOKであった。
	その他、現地到着後にした手続き(健康診断、予防接種等)があれば、方法、料金等を記入してください。	前年の留学者も書いているが、休暇中などに出国する場合はTravel signatureがないと、米国に帰ってこれなくなるので注意。ISSに問い合わせれば、発行してもらえる。

3. 語学力向上のためのコースについて

3-1	語学力向上のために、大学等のコースに参加しましたか。参加した場合、大学(語学学校)名、コース名、料金、期間等を記入してください。	参加していない。
-----	--	----------

4. 大学の授業について

4-1	履修登録について	
	履修登録の時期:	
	履修登録の方法:	出発前
	その他を選択した場合、記入してください。	
	登録時に留学生として優先・配慮はありましたか。	無し
	優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。	
	希望通りの授業が履修できましたか。	いいえ
	希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。	現地生の方が、先に履修登録できるため、履修登録をする段階ですすでに授業の希望者が満員になっているケースがあった。
4-2	現在までに履修している授業について記入してください。	クリックで別シートへ
4-3	一週間のスケジュール(授業時間、課外活動等、毎日の生活)を記入してください。	クリックで別シートへ

5. 現在までの感想を自由に記入してください。(800字～)

大きく三つのカテゴリーに分けて書かせていただきたいと思う。

(授業、学習面)

これまでに、三つ授業を履修したが(ファイナンス、マーケティング、international businessの授業をそれぞれ一つずつ)、どの授業にもグループワークが付いてくる。グループワークに関しては、毎回、どのようにバリューを出していくかに関して苦労している。一つ、私が実践していることとしては、議論の最中に深みのある意見を瞬発的に言うのはかなり困難であるので、下準備の段階や成果物の作成のスピードにおいて、自分なりに努力すると言うものである。いずれにせよ何らかの形で、班のメンバーに自身のやる気を見せる、価値を見せることは一定重要であると思う。

授業に対する学生の取り組み方に関しては、個々人によって差はあるものの、教授の方が非常に良く授業の進め方を考えており、評価方法なども非常に細かい。(学部全体で、実社会で活躍できる学生を育てあげようと言う意図が感じられる)例えば、評価対象に関しては、テスト3回+グループ課題二つ+最終プレゼン+個人タスク三つと言うような具合である。そういった意味で、テストの出来が一度大変悪かったとしても、ある程度やる気次第でgradeを挽回することができると思う。

(生活、人間関係)

物価に関しては、ざっと日本の3倍である。生活をしているうちに徐々に金銭感覚が麻痺してくる。ただ、ワシントン大学生として強制的に入金させられるHusky cardでキャンパス内で買い物ある程度済ませれば、多少節約はできるはずである。

また治安に関しては、日本と比較すると当たり前だが、はるかに治安が悪い。危害を加えられると言うことはほぼないが、薬物中毒者が多く、ホームレスが街の至る所でうろついていると言う感じである。(weedの匂いが非常に不快である。)

人間関係に関しては、授業内で友人を作ることも当然可能だが、少し難しいと感じている。友人を作る上で、おすすめなのは、Unite UW(現地生と留学生を結びつけるサークル)と言うコミュニティに入ることや何らかのサークルに入り、現地学生と活動に取り組むことである。

(就職活動)

ボストンキャリアフォーラムを中心に準備を進めていた。実際に現地にも行き、参加をした形である。結論から申し上げますと、ボストンキャリアフォーラムへの参加は強く勧める。金銭的負担、留学生活との両立など様々な意見はあると思うが、個人的には、ボストンキャリアフォーラムは「幅広く業界を見る、実際に実社会で働かれている方との接点を持てる機会」、「他の海外で勉強に励んでいる正規の日本人留学生や交換留学生から刺激を受けられる機会」であると思う。こうした貴重な体験ができる機会は人生の中でもあまりないと思うので、参加を迷っているのであれば、参加をお勧めしたいと思う。

もう少し具体的に詳細に関して申し上げますと、参加企業のお大半を金融機関やコンサル会社が占めている。準備開始時期に関しては、6月あたりであった。面接、選考の開始時期などに関しては、企業ごとに異なるが、大体9月あたりに開始し、10月、11月はオンライン面接で忙しくなると言う感じである。(これはあくまでも目安であり、明確な日程等は年によっても異なるので各自で確認してもらいたい)

さ

6. 留学経験の共有について

あなたの自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書と共に提出してください！

6-1	あなたの報告書の一部を引用して、本学の印刷物やウェブサイトに掲載することに同意しますか？	はい
6-2	あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
6-3	学部のウェブサイトに報告書を記載します。留学を検討している経営学部生があなたに連絡を取る事に同意しますか？	はい

4-2 現在までに履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数／週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	FIN 350	Jarrad Harford	110 分 *2/週	4	英語	50人~60人	とにかく予習、復習が大切な授業だと思う。一回あたりに進む量が多いため、それなりに毎週復習の時間を設ける必要があった。成績評価に関しては、テスト重視であった。
2	MKTG 301		110 分 *2/週	4	英語	50 人 ~ 60 人	3回の試験に加えてチームプロジェクトの成果物、発表、日々の宿題と、評価対象が細かく分かれていた。その分全ての課題にコミットする必要があるが、逆にいえばテストが悪かったからといって、落単するなどということはないので、その意味では良心的な授業であった。
3	IBUS 300	Leta Beard	110 分 *2/週	4	英語	50 人 ~ 60 人	とにかくインタラクティブな授業であった。日本を含むアジア諸国のビジネスカルチャーなど世界中の文化の違いとグローバルビジネスとの関連性をアクティビティなどを通して学んでいくという非常に楽しい授業である。
4	CISB	Hiroki Onitsuka	110分/週	1	英語 & 日本語	5~6人	日本語を学習する学生と日本人が学び合う、Language exchangeのような授業。

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

基本的にクラスの人気は50~60人といったところだろうか。成績評価の仕方としては、決して試験のみではなく、チームプロジェクトの成果物、プレゼンテーションの出来なども加味される。現地学生の取り組みに関しては、人によってまちまちである。とても熱心な学生もいれば、最低限しかコミットしない学生もいる。ただ、非協力的な学生は基本的にはいないので、働きかければチームプロジェクトはスムーズに進められることは多いと思う。

4-3 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	13:30~3:30	8:30~10:30	13:30~3:30	8:30~10:30	授業の復習	授業の復習	授業の復習
9:00					友人と外出	友人と外出	友人と外出
10:00	IBUS 300	FIN 350	IBUS 300	FIN 350			
11:00		15:30~17:30		15:30~17:30			
12:00							
13:00		MKTG 301		MKTG 301			
14:00							
15:00							
16:00							
17:00							
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							
23:00							